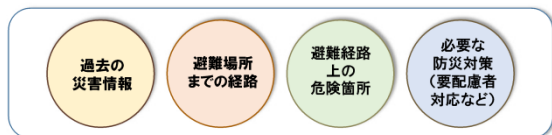


# 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況

- 肱川については、5月25日に「肱川の減災に係る取組方針」を策定。また、5月30日には、洪水浸水想定区域図(想定最大規模、計画規模)及び家屋倒壊等氾濫想定区域を公表。
- 一方、内閣府が実施している「災害・避難カードモデル事業」について、肱川の<sup>みよし</sup>三善地区が今年度モデル地区として選定され、現在、事業を実施中。
- 三善地区自主防災組織が主体となり、住民自らが「災害・避難カード」を作成できるようにするためにワークショップ等を開催する事業であり、それらの取組に関する支援・助言を行うため、大洲河川国道事務所も参加。  
 <参加機関:内閣府、大洲河川国道事務所、松山地方気象台、愛媛県、大洲市>
- 今後、ワークショップ等を数回開催し、三善地区の災害・避難カードを年度内に作成する予定。

## はじめに 「災害・避難カード」とは？

- 自然災害による被害の軽減のためには、  
 住民自身による適時適切な避難がきわめて重要！
- 避難すべき場所などをあらかじめ認識しておくための  
 仕組みとして「災害・避難カード」を作成する！



これらの情報を、水害・土砂災害等 災害種別毎に整理

災害・避難カード(●●地区XX)

災害種別ごとに避難行動の内容と避難の合図について整理した「タイミング表」

災害	避難先・場所	避難の合図
土砂災害	A小学校 (そこまで逃げられない 場合はマンション)	土砂災害警戒情報
X川のはん蓋	C市民会館	はん蓋危険情報

※災害に巻き込まれないために、自備からどのような情報に注意すればいいのか確認しておきましょう！

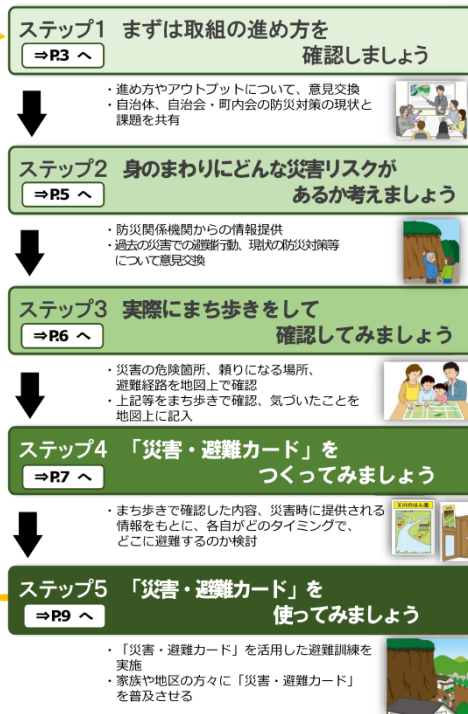
出典:「土砂災害から身を守る！」パンフレット(内閣府(防災担当))

作成した「災害・避難カード」は、

- \* 自宅の冷蔵庫など普段、目にとまる場所
- \* 財布の中へ入れて持ち歩く ※内閣府ウェブサイトより

## 1. 「災害・避難カード」の作成手順

取組を受け、継続的にカードを見直ししていく



※これは、進め方のモデルであり、地区の実情や取り組むべき課題を踏まえながら検討します ※内閣府ウェブサイトより

## スケジュール

6月9日  
幹事会開催

8月28日  
第1回ワークショップ

ワークショップを  
数回開催

災害・避難カード  
作成